



特定非営利活動法人

アジア・アフリカと共に歩む会

南アフリカ共和国貧困地域への教育支援

TAAAの活動日誌 2002年

- ・ 2002-12-14 [南ア帰国報告会案内](#)
- ・ 2002-10-27 [TAAA 10周年記念誌](#)
- ・ 2002-7-28 [活動近況](#)
- ・ 2002-7-1 [南ア帰国報告会案内](#)
- ・ 2002-4-29 [2002年～2003年の活動](#)
- ・ 2002-4-1 [毎日新聞元南ア支局長福井聡さんのご挨拶](#)

2002年12月14日

南ア帰国報告会案内

TAAAはこの10年間に、南アフリカ共和国の本の不足している学校や現地の州政府やNGOに日本で集めた英語の本22万冊と移動図書館車13台を送り、移動図書館運行の支援を続けてきました。

現在は埼玉県で使用されていた移動図書館車を2003年度中に南アの西ケープ州へ送付すべく準備を進めていますが、この度TAAAの連絡員であり南アで在住をしている平林薫が一時帰国し、現地での利用状況などを報告いたします。

日時： 2003年1月12日（日）2:00PM～4:00PM（開場1:30PM）

会場： 埼玉県労働会館5階12会議室（さいたま市常盤9-24-13）JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩5分 Tel 048-832-2151

参加費： 500円

講師： 平林 薫（TAAA南ア在住連絡員）ほか

内容：

- ・ TAAAが送付した移動図書館車が巡回する地域と周辺の状況
- ・ 南ア現地のNGOの活動
- ・ ストリート・チルドレンの施設への本の配布
- ・ 南アの現状と今後
- ・ 日本国内における英語の本と移動図書館車収集と輸送の活動報告

主催： アジア・アフリカと共に歩む会

Together with Africa and Asia Association (TAAA)

[▲ トップへ](#)

2002年10月27日

T A A A 10周年記念誌

皆様からの英語の本やご寄付金などのご協力をいただき、次のような活動ができました。

- ◆6月と7月に計2台の移動図書館車を南アクワズルーナタール州教育省へ送付。
- ◆T A A A 南ア駐在連絡員の平林薫が一時帰国し、報告会を行なう。内容は11月 発行予定の会報30号に掲載の予定。
- ◆8月河合塾の協力で収集した英語の本8727冊をプレトリアへ送付。周辺の地域で使用する。
- ◆9月2076冊の本をダーバンの教育N G Oへ送付し、周辺の学校へ配布。教師の講習にも使用する。
- ◆10月6日、T A A Aの10周年記念パーティーを開催。南ア大使も出席され、「10年間のT A A Aの教育支援は、南アの教育発展に大きく貢献してきた。今後もぜひ継続して欲しい」と力をこめて語られた。
- ◆「T A A A 10周年記念誌」を発行

[▲トッパ](#)

2002年7月28日

活動近況

南ア連絡員の平林薫さんが2月に西ケープ州のエルギンコミュニティカレッジ（N G O）やゾアール地区を訪ねました。エルギンでは図書館のベースとしての建物が日本大使館の援助で建設され、移動図書館が学校を回り始めたところでした。西ケープ州の図書担当官のジューン・バーチェスは、もう1台をさらに教育施設の遅れているゾアールで使用することを提案してきました。私たちはもちろん賛成しました。彼女を中心にゾアールで新たな教育開発が始まる予定です。

5月にはヨハネスブルグ近郊のM E Iへ2370冊の本を送りました。クワズルーナタール州に6月、移動図書館車を1台送付しました。2台の予定でしたが、残念なことに南ア政府発行の免税許可証の中のシャシ番号にミスがあったため、1台は延期としました。7月には河合塾から昨年集めた本の一部を送る予定です。

10月には10周年記念行事を予定しています。

[▲トッパ](#)

2002年7月1日

南ア帰国報告会案内

南アでT A A Aの連絡員をしている平林薫が一時帰国し、現状を報告します。皆様方のご参加をお待ちしております。

T A A A 10周年記念 南ア連絡員帰国報告会

「南アフリカ移動図書館活動の現状を語る」

日時： 2002年7月13日（土）2時～4時（1時半開場）

場所： 埼玉県労働会館 5階 13会議室

（JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩5分 TEL：048-832-2151）

参加費： 500円

講師： 平林 薫（T A A A南ア在住連絡員）

内容： T A A Aの支援により移動図書館が巡回している学校（ヨハネスブルグ 近郊、西ケープ州）、ストリート・チルドレンの施設への本の配布、南アの現状 と今後

主催： アジア・アフリカと共に歩む会（T A A A）

[▲トップへ](#)

2002年4月29日

2002年～2003年の活動

皆さんからいただいた本や移動図書館車や寄付金のおかげで順調に活動が行なわれています。

最近の主な活動

- ◆2002年10月 南アのNGOのMEIへ英語の本3034冊を送付する。
- ◆12月 埼玉県行田市使用済みの移動図書館車を入手する。
- ◆2003年1月 一時帰国中のT A A A南ア連絡員、さいたま市にて活動報告会
- ◆1月 南アにて車の輸入免税許可申請を提出。
- ◆3月 インターナショナルスクールより本引取り。
- ◆3月 西ケープ州へ本3191冊を送付する。
- ◆4月 南ア連絡員がデベトンの移動図書館を訪問する。
- ◆4月 経団連の1%クラブの対象団体になる。

3～4月には、本や移動図書館車を送付した南アのNGOや学校や自治体から感謝の手紙や報告書が次々に届きました。会報32号（6月発行予定）に掲載します。

[▲トップへ](#)

2002年4月1日

毎日新聞元南ア支局長福井聡さんのご挨拶

1994年3月に南アを訪問した折、教会で本を教師たちに分けているところ取材してくれた福井聡さん（現毎日新聞ウイーン支局長）から、メールが届きましたのでご紹介します。

創設10周年、おめでとうございます。草創期にささやかなお手伝いをさせていただいた者として、その後会がたくましく、しぶとく活動を広げて行く姿を拝見させていただき、心強い限りです。初

めて野田さんから連絡を受けた時、私はヨハネスブルク駐在のアフリカ特派員でした。実は、アフリカ各地に届く日本からの援助を見ていて「モノや食料を贈るだけの援助」に疑問を感じていました。贈られる物資は本当に必要とされているものだろうか、必要な人に本当に届いているのだろうか、届いた後本当に活用されているのだろうか。現地の実情を考えず、贈っただけで自分たちの善意に満足して終わっていないだろうかーと。歩む会が他と違うなと感じたのは、活動が「進化」して行った事と、肩肘張らず粘り強く続けて行った事です。初めは本を贈るだけでしたが、図書館に通えない子供たちに移動図書館の寄贈を考え付き、贈る側と贈られる側の交流が広がって行きました。また、身の回りで出来る範囲の支援を続ける姿勢が光っていました。援助とは、それを通して私たちが世界を学ぶ場です。歩む会の皆さんは新聞やテレビに出ないアフリカの今を最も良く知る日本人ではないでしょうか。次の10年、またボチボチ続けて行ってください。（福井聡、毎日新聞ウィーン支局長）

[▲トップへ](#)